2010 年 9 月 8 日(水)

平成 22 年度　第 1 回新潟市若年者自立支援ネットワーク会議

労協センター事業団
新潟地域若者サポートステーション　竹葉節二

1.新潟地域若者サポートステーションの概要と実績

(1) 厚生労働省「若者自立支援事業」受託。2007 年(H19)7 月開設。

(2) 県内は三条，村上，新潟の 3 か所。現在,全国 100 サポートステーション

(3) 立地は全国的にも恵まれ，ハローワークプラザ(中央区弁天)2F。
ときめきしごと館，若者しごと館，ジョブカフェなどからのリファーが多い(年間 48 名)

(4) **2010 年 7 月末現在　来所延べ人数　22,164 人，登録者 679 人，**
1 日平均 40 名来所，相談件数 1 日平均 8 名，
進路決定率 38%<260/679>（厚生労働省目標 30%）

(5) 職員 7 名(常勤 4 名，非常勤 3 名)，常勤換算 4 名

2.これまでの取り組み

(1) 失敗が許され，痛みが分かる仲間と支え合いながらいつでも再出発できるステーションでありたい。(友達ができると確実に元気になる～友達づくりのお手伝い)
若者自立支援事業(厚労省)「自立＝就職」を意識しつつ，「生活力」(急がず継続して働けるように，各利用者が就職するのに何が不足を気づき修得)に重点を置く

(2) サポートステーションのサービス 3 本柱は
①カウンセリング(悩みごとの相談)
②講座(コミュニケーション up)
③フリースペース(誰かに会える・友達づくりの居場所・・・・しゃべれない～講座参加で少ししゃべれる・友達できる～フリースペースで友達の輪ができる～友達からのジョブトレ情報・アルバイト情報～ジョブトレ・アルバイト)

(3) 初回来所から自立までのプロセス(棒線部分が自立としてカウント)
初回来所～カウンセリング(自立計画)～講座(コミュニケーション up)～ボランティア～ふるさとジョブトレ～ジョブトレ(一般団体)～短期(単発)アルバイト～長期アルバイト～パート社員～派遣社員～正社員(正社員年間9名)

(4)「ふるさとジョブトレ」(新潟県・新潟市ふるさと雇用再生特別基金事業で飲食店 3 店,とうふ工房，大豆農家，果樹園の委託，利用者をよく理解した受入体制 4 時間 1,500 円のジョブトレ手当支給)で，ジョブトレに挑戦する利用者が急増(4 月から 8 月＜5 か月＞5 ヵ所で 37 名，延べ 151 名，ふるさとジョブトレによる自立者 6 名)。
ジョブトレで，働く意欲(働くことができた自信)と収入に対する喜びで意欲の善循環が形成(一般団体ジョブトレで 4 月から 8 月＜5 か月＞3 ヵ所で 6 名延べ 31 名,自立者 0 名)

3. 今後の課題

(1) 今後ますます成果(実績)が求められる時代(昨年，自立塾が事業仕分けされる)，急がず自立のスピードアップを図っていきたい(自立プログラムの推進)

(2)「ふるさとジョブトレ」は 11 月から大豆農家，果樹園が冬場お休みになるため，今後，季節に関係のない介護，指定管理者の現場でのジョブトレ(就労体験)の場を創っていきたい。

(3) ジョブトレ修了者で自立できない利用者の働く場を「協同労働」という視点で福祉・介護・農業等を中心に情報を集め，皆様のご支援をいただき研究していきたい。

以上